

三条商工会議所景況調査概況

【令和5年7月～9月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO調査＞）を毎月集計した令和5年9月の結果と、三条商工会議所で3ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 328 商工会議所が 2,474 企業にヒアリング。回答数 1,950 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 232 件
- DI値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員DIは（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

9月の全産業合計の業況DIは、▲9.0（前月比▲0.1ポイント）

建設業では、国土強靱化事業をはじめとする公共工事の受注が堅調に推移し、改善した。小売業では、高付加価値商品の販売やインバウンド需要が好調な百貨店が下支えし、改善した。また、卸売業でも小売業からの引き合い増加で改善した。一方、製造業では、円安の伸長による輸入部材の価格高騰により悪化した。サービス業では、慢性的な人手不足により、飲食・宿泊業を中心に、悪化となった。

各業種の業況はまだ模様となったものの、エネルギー価格の高騰によるコスト増や深刻な人手不足等、業種を問わない課題は山積しており、中小企業の業況は4か月連続で足踏みが続いている。

先行き見通しDIは、▲12.9（今月比▲3.9ポイント）

インバウンド需要の継続的な回復や、個人消費の拡大を期待する声が聞かれている。一方で、円安の伸長やエネルギー価格等の高騰でコスト増が続く中、賃上げ対応に必要な価格転嫁も十分に行えておらず、収益圧迫が続いている。また、地政学リスクの高まりで世界情勢も不安定な中、インボイス制度や働き方改革など対応すべき諸課題も多く、中小企業の先行きは厳しい状況が続く。

全国の9月産業別業況

【建設業】

「国土強靱化事業により、公共工事の受注数は堅調に推移している。一方で、公共工事は価格転嫁の動きが鈍いため、仕入価格の度重なる高騰により、採算割れとなる工事も出てきている」（一般工事業）、「工事案件が増加しているのは嬉しいが、同業他社の賃上げ等で新卒の採用が厳しくなっており、人手不足感は増している」（電気工事業）

【製造業】

「円安が伸長しており、輸入部材が再び高騰している。加えて、電気・ガソリン代等のエネルギー価格の高騰により上昇したコスト分の価格転嫁が追いつかず、採算は厳しい状況が続いている」（建具製造業）、「電気代の高騰による負担を軽減するべく、補助金を活用して太陽光発電設備を導入した」（民生用電気機械製造業）

【卸売業】

「円安の影響で輸入品の価格が高騰しており、再び収益が悪化している。現在は輸入を中心に事業を展開しているが、今後も円安基調が継続する見込みのため、輸出への事業転換を視野に事業の拡大を図っていく」（機械器具卸売業）、「人材確保に向けた賃金の引き上げを行うべく、設備投資による生産性向上や働き方改革を通じた原資の確保を進めている」（建築材料卸売業）

【小売業】

「インバウンド等の増加で平日の観光客も増加しており、売上は好調に推移している。客足が増加するに伴い、従業員の増員が急務だが、求人に対する応募数が少なく、さらに短期間での離職も多いため、人材の定着に向けた環境整備に努めていく」（百貨店）、「コスト増加を背景としたインフレに伴い、商品単価が上がり、売上は増加。一方で、物価高で客足の減少・買い控えは続いている」（調理器具小売業）

【サービス業】

「仕入価格や電気・ガス等のエネルギー価格の高騰が続いており、収益の改善に至っていない。足元で感染者も拡大傾向にあり、団体客の宴会のキャンセルが発生する等、影響が出ている」（飲食店）、「働き方改革への対応は、自助努力だけでは対応が追いついておらず、取引先や顧客に制度に伴う運用変更への理解・周知に力を入れていく」（運送業）

【令和5年7月～9月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和4年度第2四半期(R4年7～9月)比(以後 前年同期比という)では▲23(前期差4ポイント減)となった。業種別では、建設業が▲17(前期差7ポイント減)、製造業が▲29(前期差8ポイント減)、卸売業が▲40(前期差6ポイント減)、小売業が▲43(前期差5ポイント増)、サービス業が+18(前期差7ポイント増)となった。前回調査に比べ、小売業、サービス業はDI値が回復したが、建設業、製造業、卸売業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲17(前期差7ポイント減)、採算DIは▲31(前期差25ポイント減)、売上額DIは▲24(前期差14ポイント減)、従業員DIは+4(前期差11ポイント増)となり、従業員DIは増加したが、業況DI、採算DI、売上額DIは減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲29(前期差8ポイント減)、採算DIは▲28(前期差3ポイント減)、売上額DIは▲27(前期差4ポイント減)、従業員DIは▲3(前期差10ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲40(前期差6ポイント減)、採算DIは▲20(前期差7ポイント増)、売上額DIは▲35(前期差10ポイント減)、従業員DIは▲7(前期差4ポイント増)となり、採算DI、従業員DIは増加したが、業況DI、売上額DIは減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲43(前期差5ポイント増)、採算DIは▲35(前期差2ポイント増)、売上額DIは▲13(前期差17ポイント増)、従業員DIは▲9(前期差1ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DIは増加したが、従業員DIは減少で推移した。

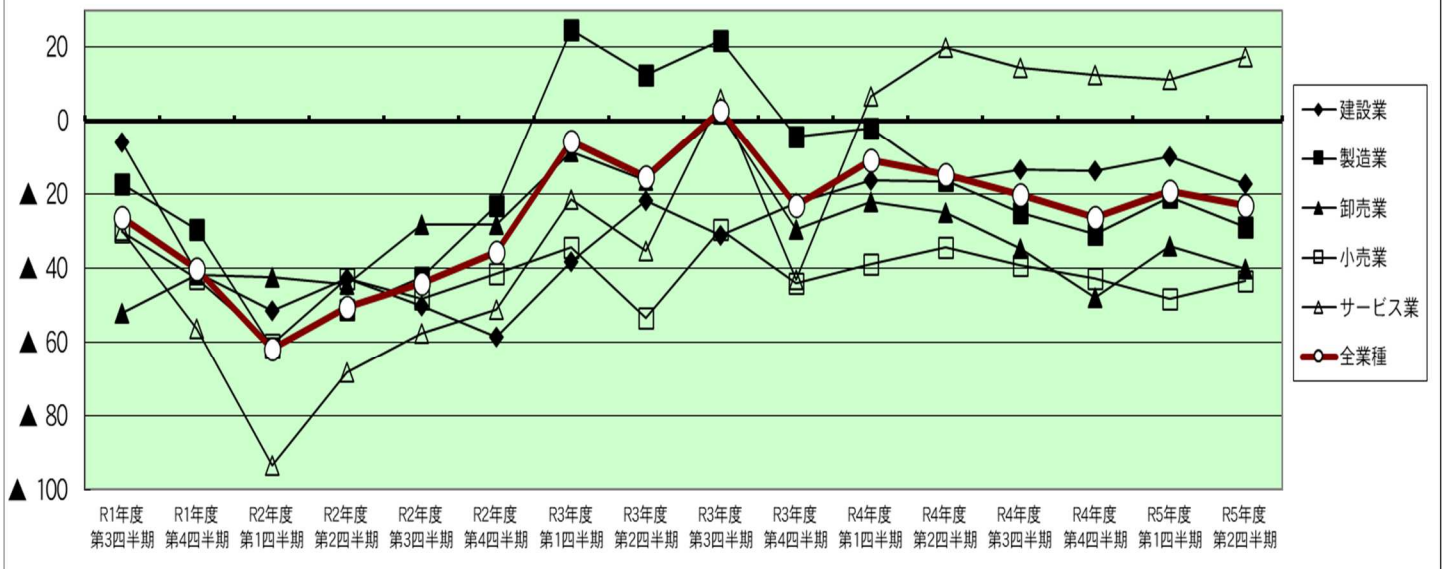
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは+18(前期差7ポイント増)、採算DIは±0(前期差11ポイント減)、売上額DIは+20(前期差7ポイント減)、従業員DIは▲3(前期差3ポイント減)となり、業況DIは増加したが、採算DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

三条地域の業況DI(前年同期比)の推移 ※DI値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R1 年度		R2 年度				R3 年度	
	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
全業種	▲ 26	▲ 40	▲ 62	▲ 51	▲ 44	▲ 36	▲ 6	▲ 15
建設業	▲ 6	▲ 41	▲ 52	▲ 43	▲ 50	▲ 59	▲ 38	▲ 22
製造業	▲ 17	▲ 29	▲ 61	▲ 51	▲ 42	▲ 23	25	12
卸売業	▲ 52	▲ 42	▲ 42	▲ 44	▲ 28	▲ 28	▲ 8	▲ 16
小売業	▲ 30	▲ 43	▲ 61	▲ 43	▲ 48	▲ 41	▲ 34	▲ 53
サービス業	▲ 30	▲ 56	▲ 93	▲ 68	▲ 58	▲ 51	▲ 21	▲ 35
	R3 年度		R4 年度				R5 年度	
	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期
全業種	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26	▲ 19	▲ 23
建設業	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14	▲ 10	▲ 17
製造業	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31	▲ 21	▲ 29
卸売業	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48	▲ 34	▲ 40
小売業	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43	▲ 48	▲ 43
サービス業	6	▲ 43	7	20	14	13	11	18

業況DI推移 (前年同期比)

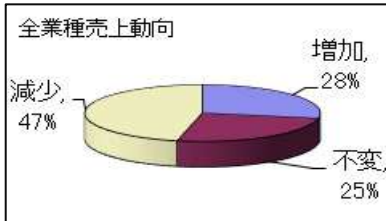


令和5年度 第2四半期(2023年7月～9月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

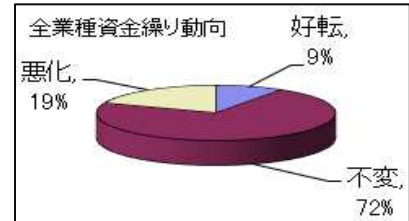
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	65	59	108
	%	28%	25%	47%
建設業	件数	6	10	13
	%	21%	34%	45%
製造業	件数	23	23	48
	%	24%	24%	51%
卸売業	件数	9	12	25
	%	20%	26%	54%
小売業	件数	6	8	9
	%	26%	35%	39%
サービス業	件数	21	6	13
	%	53%	15%	33%



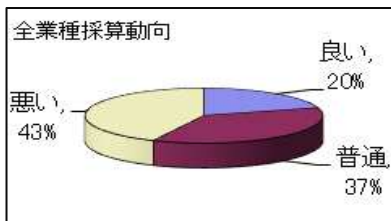
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	21	165	44
	%	9%	72%	19%
建設業	件数	1	25	3
	%	3%	86%	10%
製造業	件数	11	61	22
	%	12%	65%	23%
卸売業	件数	2	38	6
	%	4%	83%	13%
小売業	件数	0	14	9
	%	0%	61%	39%
サービス業	件数	7	27	4
	%	18%	71%	11%



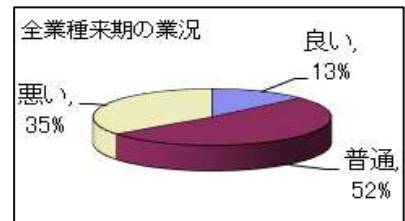
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	47	84	99
	%	20%	37%	43%
建設業	件数	4	12	13
	%	14%	41%	45%
製造業	件数	19	28	45
	%	21%	30%	49%
卸売業	件数	8	21	17
	%	17%	46%	37%
小売業	件数	1	13	9
	%	4%	57%	39%
サービス業	件数	15	10	15
	%	38%	25%	38%



業種別来期(2023.10～12月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	25	98	67
	%	13%	52%	35%
建設業	件数	3	17	4
	%	13%	71%	17%
製造業	件数	10	41	28
	%	13%	52%	35%
卸売業	件数	4	15	19
	%	11%	39%	50%
小売業	件数	2	10	3
	%	13%	67%	20%
サービス業	件数	6	15	13
	%	18%	44%	38%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。
<https://www.sanjo-cci.or.jp>